

「馬場小室山遺跡フォーラム」第95回ワークショップ

【復興の原動力！パブリック・アーケオロジー2019】

馬場小室山遺跡とまちづくり環境の「かかわる」から、「山田湾文化」の「つながる」パブリック・アーケオロジーへ

＜馬場小室山遺跡と「見沼文化」研究の新展開—縄文時代の地域文化と広域連動メカニズム「つながる」の解明—＞
知識・経験・思考・領域等にみられる現代的限界からの証拠に基づく知的解放を目指して活動します！

新展開1 (ムロ1) ～ (ムロ12) は以前のレ ジュメ参照	「ムロさま」の 「限界領域」打破 (墓場の公共性にみ る墓式と葬式、及び 「人骨集積」・「土器 集積」・「逆位壺」等 の真相)	馬場小室山遺跡「第51号土壙」から展望する縄文時代の葬墓式と「土器社会論」—「ムロさま」の 「累積型改新土坑墓」と「積葬墓」から探る「追埋設型土器棺集積墓」への途— (ムロ13)「土器集積の風習」と「逆位壺」が「再葬壺棺墓」の出現へ【『福島考古』60】 (ムロ14)粗製深鉢棺から大形壺棺の出現へ【『福島考古』60】 (ムロ15)七社宮遺跡の「大洞A1式」期初頭の「逆位人面文注口付壺」【『福島考古』60】 (ムロ16)篠ノ井遺跡群塩崎体育館地点「5号土壙」の「逆位大形壺」
新展開2 (オム1) ～ (オム7) は以前のレ ジュメ参照	「オムちゃん」と 「ムロさま」との 「限界知識」打破	土偶と土面／顔面付土版／人面文土器等の関係、そして容器形土偶／顔壺へ (オム8)青森県川原台遺跡と岩手県山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡の人面文土器 (オム9)青森県五所川原市五月女菰遺跡の「大洞C1式」土面付鉢 (オム10 予告)「撚糸文土器」～早期土偶 (オム11 予告)「見沼文化」最古の土偶 (オム12 予告)「鬲體信仰」は「ムロさま」から容器形土偶や顔壺の土坑墓へ
新展開3 (シオ1) ～ (シオ3) は以前のレ ジュメ参照	「シオ(塩)もん」の 「限界経験」打破 縄文時代の製塩土 器は「採鹹・せん ごう土器」が真相！ 固形塩の物流では なく、「大形魚塩蔵 品」・「汽水系塩 (海水)煮」に留ま らず、濃縮海水を 内陸で希釈する 「淡水魚(含む特 産ウナギ)塩(海 水)煮」の普及か？	「製塩土器」の確立から製塩遺跡の操業へ、爆発的普及の晩期社会と「定住制」の定着 (シオ4)下布田遺跡の「製塩土器」在地性は古鬼怒湾型変遷との乖離！／枯れたアマモを特 定の場所に集めて乾燥させる「塩草場」の存在、及び天日と地熱(熱砂)利用の採 鹹・せんごう工程に相応しい「製塩土器」鉢形態の確立 (シオ5)宇都宮市刈沼遺跡からは寺野東遺跡よりも多数の「製塩土器」が検出し、在地で淡水 魚の「塩煮」が浮上。鬼怒川流域の口縁部形態は下布田遺跡(板状工具+ナデ調 整)とは大きく異なり、「古鬼怒湾系列」である口縁部水平ヘラカットが定着 (シオ6)三陸北部における「製塩土器」の年代と系統(1)久慈市大芦Ⅰ遺跡の長胴深鉢形態 と僅かな出土点数に注目した「採鹹・せんごう土器」の提唱 (シオ7)六十軒遺跡の「製塩土器」二者(古鬼怒湾ケズリ系列VS無文ナデ系列)の意義 【『利根川』40】 (シオ8)古鬼怒湾で後期中葉から大量出土の粗製土器とウナギのブツ切り「塩(海水)煮」／ 「採鹹・せんごう土器」の定着に果たす古鬼怒湾ウナギ「塩(海水)煮」に注目！ (シオ9)シカやサルが舐めていた「縄文山塩」の発見と「山塩煮」の縄文鍋 (シオ10)「微小貝類から想定される「葦灰」製塩の可能性」？アマモは「藻灰」×「草灰」○ (シオ11)「製塩土器」に観る「大宮台地系列」(馬場小室山)、「武蔵野台地系列」(正網・下布田) (シオ12)古鬼怒湾の「魚食・塩(海水)煮文化」と加曾利貝塚の「貝食・塩(海水)煮文化」 (シオ13)「補注式灰煮沸法」は現代人のおとぎ話か？ 「製塩土器」の膨大な個体数と爆発 的普及に見合う「アマモ灰」製作は煮沸によるせんごう過程と二度手間で非効率！ (シオ14 予告)広畑貝塚の「製塩土器」に付着した微小巻貝の観察
新展開4	「ツナがる」の 「限界思考」打破	「見沼文化」は「撚糸文土器」に地域文化形成としての特徴が見られ、「条痕文土器」の地点貝 塚の背景は列島における「縄文海進」のピークにおける海洋資源開発の顕在化にある。 (ツナ1)土器の施文原体として九州から北海道まで「ツナがる」貝殻を使用する風習とは？ (ツナ2)仮称「八雲式」の制定と大柄鋸歯文の来歴と組成は前後にどう「ツナがる」か？ (ツナ3)縄文時代早期とは「自然環境としての日本列島を形成し、海洋適応としての貝塚形成 の風習が九州から北海道まで「ツナがる」時代」と概念化

1.【地域とパブリック・アーケオロジーの底力】：各地域における自然の恵みと基層文化の形成を考えよう！

1-1.【縄文時代早期とは列島環境の形成と海洋適応の文化】：列島形成史から見た縄文時代の文化区分

- ・「縄文時代早期とはどんな時代か？」という問い掛けに対して、「見沼文化」の早期研究から最初に示すべき解は「自然環境としての日本列島を形成し、海洋適応としての貝塚形成の風習が九州から北海道まで「ツナがる」時代」と概念化したいと思います。
- ・「縄文海進」の進行は地形によって列島の形成年代にラグ(遅れ)が発生しますで、地域ごとに異なります。九州や北海道において早期の貝塚が目立ったのは近年であり、長い間、海進のピークは前期と考えられていました。瀬戸内海における貝塚形成が関東地方に比べて「押型文土器」まで遅れるのも、「縄文海進」の海面上昇が瀬戸内海の深さに到達するまでのタイムラグと理解されます。

1-2.【九州における縄文時代早期後葉の貝塚文化】：『九州考古学の諸問題』(1975)では早期の貝塚無し！

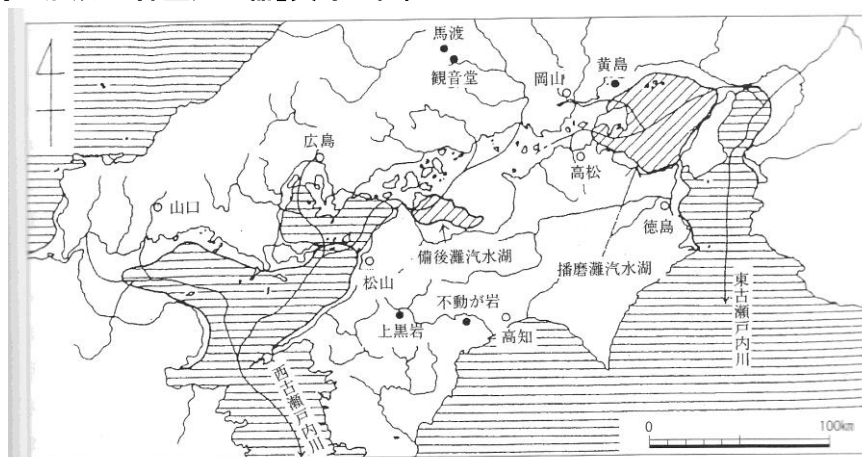
- ・九州北半において早期後葉「塞ノ神式」の低地性貝塚として近年有機物考古学として注目を浴びています佐賀市東名貝塚について、【別添資料】により解説します。
- ・福岡市浜の町貝塚(標高—6mの内湾砂泥底貝類・原位置と報告)でも「塞ノ神式」の低地性貝塚が調査されており、齋藤瑞穂氏が警固断層の年代を絞り込む難しい議論を展開しています(「縄文海進」は遺跡の破壊に特徴がありますので、断層直後の年代を特定する場合には層位の厳密な年代比定が必要とされますが、果たして真相は如何に！)ので、以下の文献をご参考までに【別添資料】にて紹介します。

齋藤瑞穂 (2018)「警固断層の」考古学的研究事始『2018 年前近代歴史地震史料研究会講演要旨集』、新潟大学災害・復興科学研究所

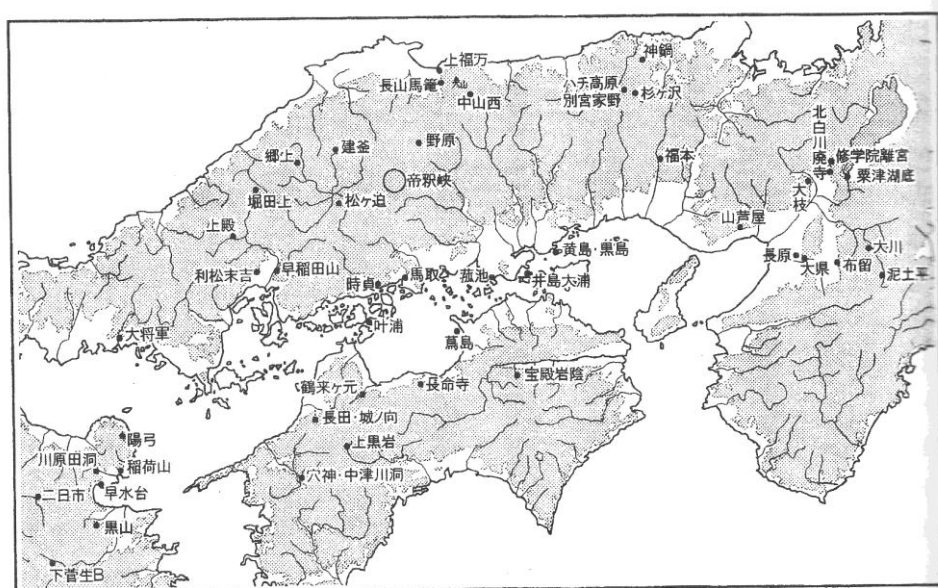
1-3.【縄文時代早期における「押型文土器」と「見沼文化」】：「見沼文化」の貝塚形成以前に瀬戸内海が形成

< 挿図出展：岡本東三 (2018)『縄紋時代早期押型紋土器の広域編年研究』、雄山閣 >

(1)瀬戸内海の形成と「押型文土器」貝塚の位置

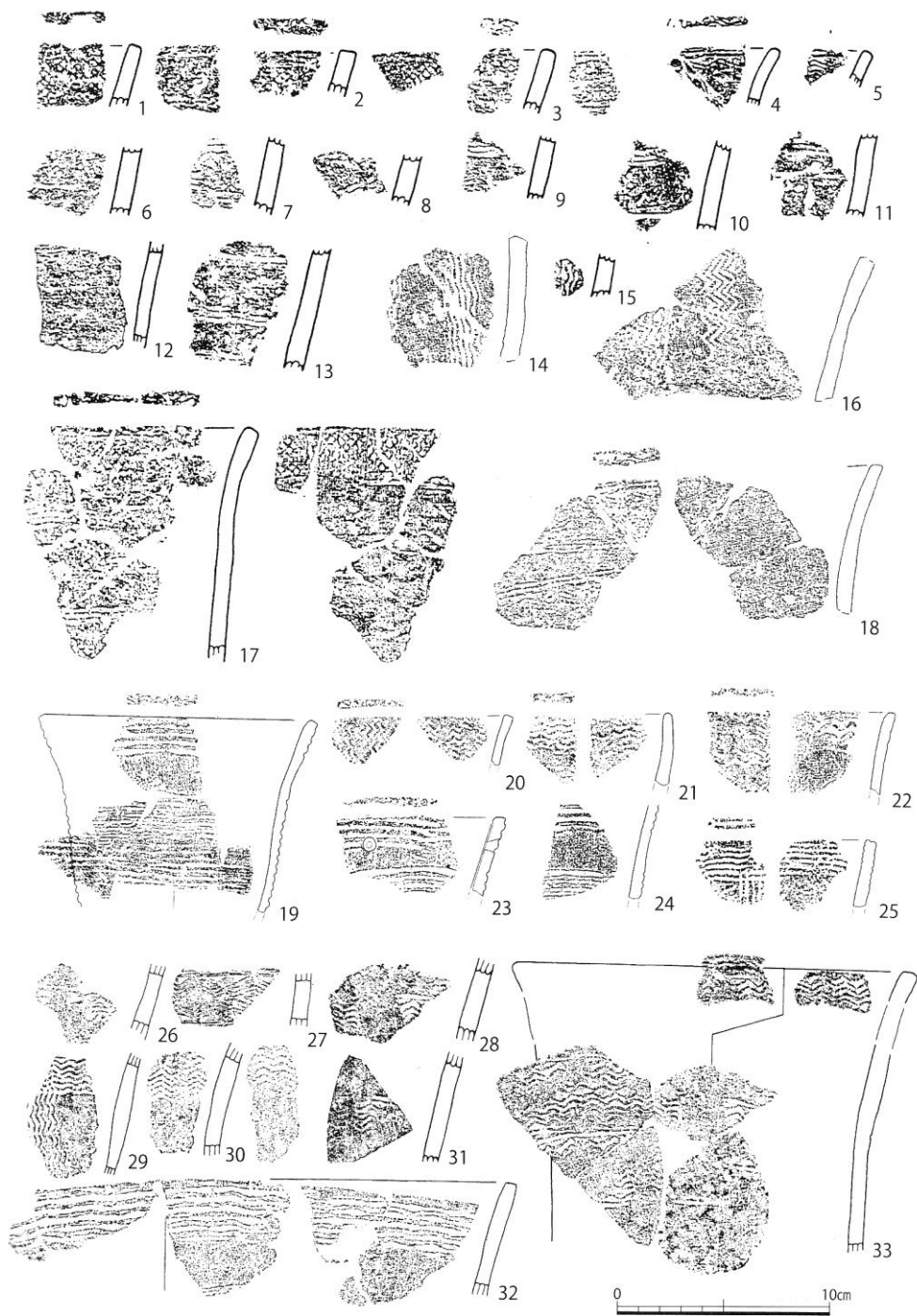


第 123 図 後水期初頭の瀬戸内海 [河瀬 1988]



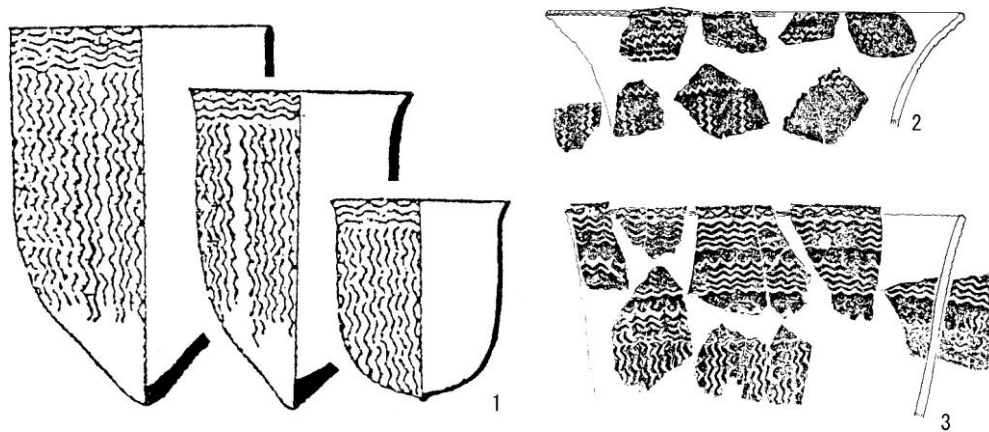
第 124 図 西部押型紋土器文化後半期の遺跡 [赤塚 2003]

(2) 縄文時代早期初頭を飾る学史的な土器群である「平坂式」と「普門寺式」

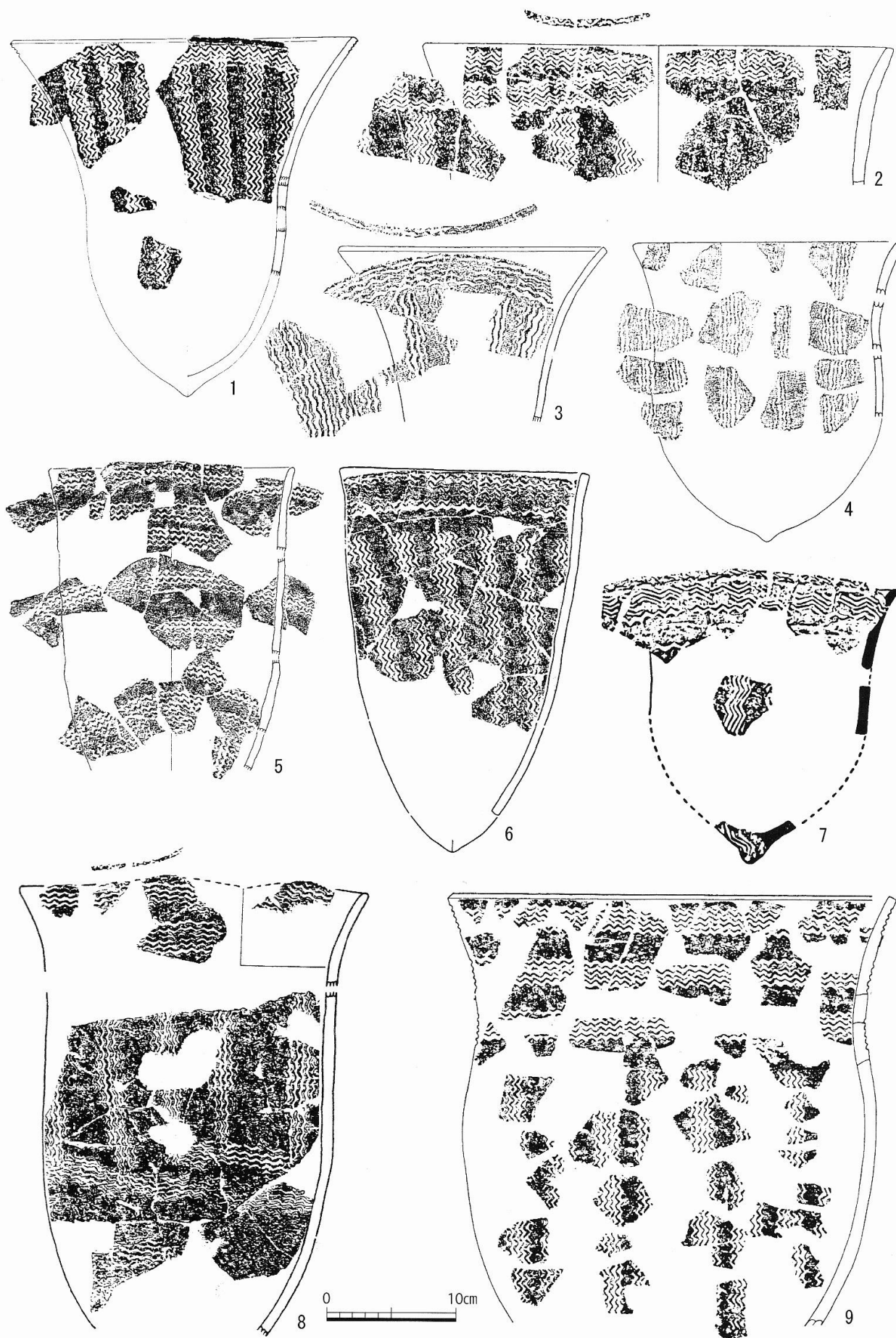


第26図 平坂型押型紋土器

1~18: 平坂貝塚 19~25: 内原遺跡 26~33: 沖ノ島遺跡



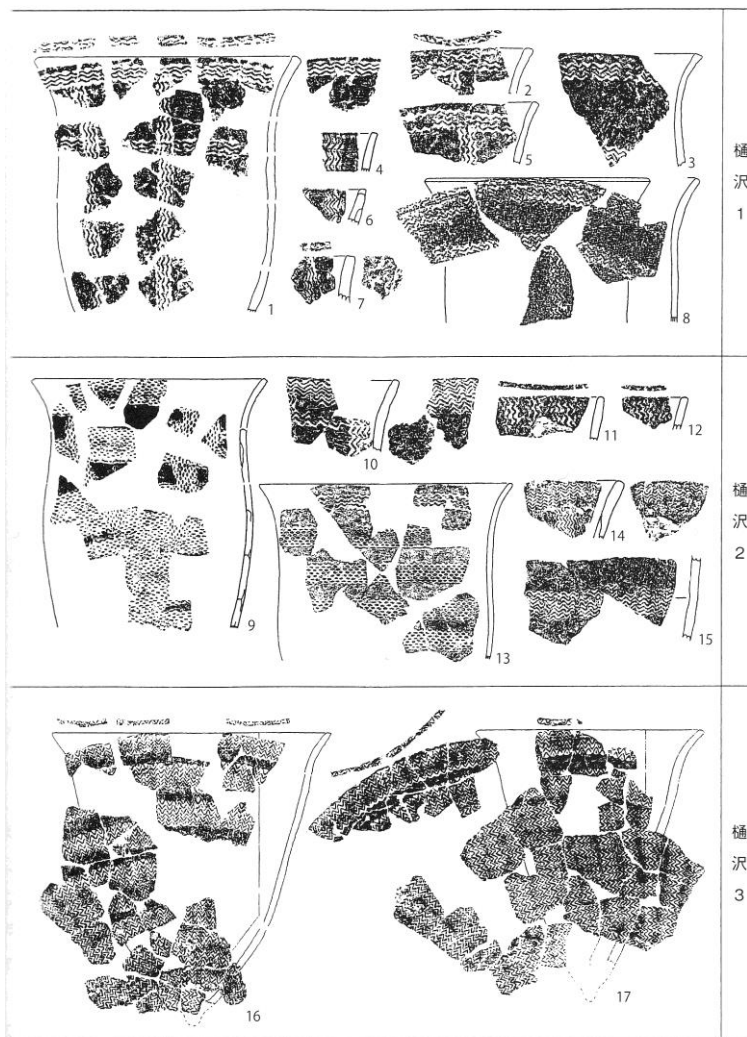
(3)さいたま市緑区北宿西遺跡から出土した「押型文土器」とその仲間



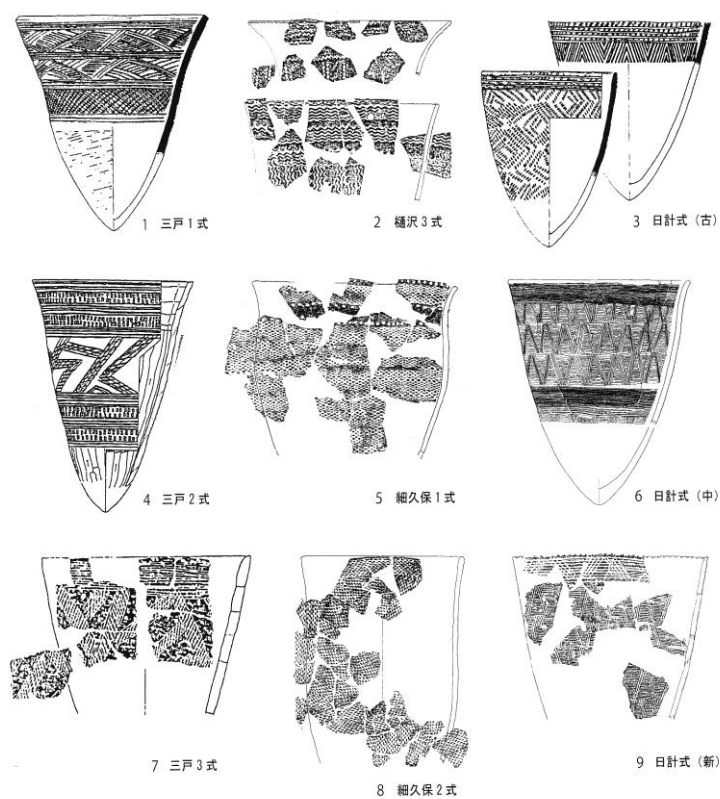
第28図 異方向帯状施紋土器

- 1: 竹之内遺跡 2: 東方第7遺跡 3: 多摩ニュータウン No.740 遺跡 4: 西原遺跡
5: 葛原沢遺跡 6: 西洞遺跡 7: 仲大地遺跡 8: 若宮遺跡 9: 北宿西遺跡

(3) 北宿西遺跡から出土した「押型文土器」の故地を求めて



第42図 帯状押型紋土器の三段階〔信州〕



第10図 関東沈線紋・中部押型紋・東北日計式の対比

1~3: 竹之内遺跡 4: 多摩ニュータウン No.207 5: 諏訪ノ木V遺跡 6・9: 大新町遺跡 7: 荏原第10遺跡 8: 市道遺跡

(4)「押型文土器」の編年(案)：岡本東三の場合

1 押型紋土器の 広域編年表

文化圏		西 部 押 型 紋 土 器 文 化 圏						東 部 押 型 紋 土 器 文 化 圏								時期
燃 糸 紋	前平式		二日市場上層			大鼻式	沢式		樋沢1式	稲荷台式					押 型 紋 前 半 期	
	吉田式		大原 D15 式			大川 1 式	宮ノ前		樋沢 2 式	(+)	卯ノ木 1 式	石 橋 式				
沈 線 紋 Ⅰ	円筒形条痕紋	中原式	松木田式		(+)	大川 2 式	宮ノ下	立野 1 式	樋沢 3 式	三戸 1 式	(+)	竹之内式		日計 1 式		
	倉園 B 式	別府原式	川原田式	(+)	(+)	神宮寺式	西田 1	立野 2 式	細久保 1 式	三戸 2 式	(+)	(+)	大新町 a 式	日計 2 式		
	石板式	政所式	稲荷山式	宝伝式	(+)	桐山和田式	西田 2		細久保 2 式	三戸 3 式	卯ノ木 2 式	大平式	大新町 b 式	日計 3 式		
沈 線 紋 Ⅱ	桑ノ丸式	弘法原式	早水台式	(+)	黄島 1 式	(+)	(+)	(+)	(+)	田戸下層 1 式			蛇王洞Ⅱ式	白浜式	押 型 紋 後 半 期	
	上野原式	中後迫式	下菅生 B 式	(+)	黄島 2 式	(+)	(+)	(+)	(+)	田戸下層 2 式	(+)	(+)	(+)	根井沼式		
	<中間式>	無田原式	田村式		<中間式>	(+)		(+)	(+)	田戸下層 3 式			明神裏 1 式	寺の沢式		
沈 線 紋 Ⅲ	手向山 1 式	(+)	ヤトコロ 1 式	穂谷 1 式	上福万 1 式	高山寺 1 式	穂谷 1 式	大 原 式	貫ノ木式	田戸上層 1 式		大火山式	明神裏 2 式	物見台 1 式		
	手向山 2 式	(+)	ヤトコロ 2 式	穂谷 2 式	上福万 2 式	高山寺 2 式	穂谷 2 式	相 木 式 (穂谷 2 式)	下荒田式	田戸上層 2 式	(+)	五軒丁 2 類	(+)	物見台 2 式		
	手向山 3 式	(+)	(+)	穂谷 3 式	上福万 3 式	高山寺 3 式	穂谷 3 式	相 木 式 (穂谷 3 式)	鍋久保式 平 石 式	田戸上層 3 式		常世式	大寺 1 式	鳥木沢式		
条 痕 紋	平橋式	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	判ノ木山西式	子母口式		松ヶ平 A 式	大寺 2 式	吹切沢式		
地 域	(南部)	(中部)	(北部)	四 国	中 国	近 畿	東 海	信 州	関 東	越 後	(南部)		(北部)		地 域	
	九 州							東 北								

1-3. 【「山田湾まるごとスクール」】：第7回「山田湾まるごとスクール」の検討 ★9/6(金)?～9/8(日)?

(1)防潮堤哀歌：川端弘行さんの日常

・「震災から8年、防潮堤がやっと進んで来て、我が家から山田湾が見えなくなり淋しい気持ちであります。」というメッセージを頂きました。大浦で生活している人々にとり、海が見えなくなることは、塀の中にいるような心境でしょうか? 安全をもたらすはずの防潮堤、心境は安心なのでしょうか、現地で考えたいと思います。

(2)第7回「山田湾まるごとスクール」の準備：5/4にホテルを予約します。

・「愛」をテーマに郷土食の現在を学び、縄文土器(川端弘行コレクション)に表現された「愛」を発見します。
五十嵐聡江さんが『山田町史 上巻』を参考に民俗データを整理して、調査票として活用予定。

2.【その他情報交換など】：自由な意見・情報交換とワイン・アーケオロジー

2-1. ワークショップ関連予定

- ・5/4(みどりの日)：馬場小室山遺跡のクリーンアップと青空考古学教室、続いて第96回ワークショップ
★青空考古学教室では大田堯先生とのお別れチラシを配布します!
- ・6/14(金)?～6/16(日)?：「山田湾まるごとスクール」第7回の下見と事前調整
- ・8/4(日)：第97回ワークショップ
★7/24(水)～8/11(日)：遥かな縄文土器(井出政男個展)ワークショップ
- ・9/6(金)?～9/8(日)?：第7回「山田湾まるごとスクール」
- ・12/1(日)：飯塚邦明ジャズピアノコンサートNo. 13
★第98回ワークショップ後、希望者で文化センターへ

2-2. その他

以 上